

写真でつづる 農学部のおゆみとこれから展

宮崎大学農学部創立八十周年記念特別展示



宮崎大学農学部
附属農業博物館ニュース No.25

特別展示

農学部創立80周年記念特別展示「農学部のあゆみとこれから」展

1. はじめに

宮崎大学農学部は、大正13年（1924）に県内唯一の国立学校として創立された宮崎高等農林学校にはじまります。以来、名称は、宮崎農林専門学校、宮崎大学農学部へとかわり、平成16年度からは国立大学法人宮崎大学農学部として新たな歴史の一步を踏み出しました。今後の大学を取り巻く状況には大きな変化が予想され、各学部が力を合わせて大学全体としての取り組みが必要不可欠であることは、みなさまご承知のとおりであります。

また、奇しくも平成16年は農学部の創立80周年にあたっており、この節目の年に、農学部の教職員や学生のみならず、他学部の方々にも農学部を知っていただく良い機会になればと、この特別展を企画いたしました。

11月22日に挙行されました宮崎大学創立80周年記念祝賀会では、特別展の一環として、会場ロビーにて写真展示を行い、卒業生はじめ多くの方々にご覧いただきました。その後、12月より博物館本館2F特別展示フロアにて、展示を行っております。

ここに展示されております写真をはじめとする資料は、全国の卒業生から提供いただいたものです。これらの写真は、当時の学生生活や社会背景をうかがい知る貴重な資料であると同時に1万4千余におよぶ卒業生に受け継がれてきた80年の歴史と伝統の証となるものでもあります。

農学部の歩んできた道筋とその足跡は、ここで学んだ者の心の支えとなる無形の財産であり、将来へ向かって新たな道を切り開いてゆく自信と勇気の礎になるものと確信しています。

なお、今号の博物館ニュースは、通常の号と編集を変え、主だった展示写真を写真集仕立てにして掲載してあります。ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

農学部附属農業博物館
館長 長友 由隆



宮崎大学農学部創立80周年記念祝賀会の様子

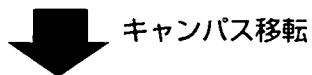
2. 組織沿革

農学部80年の沿革

大正13年（1924） 宮崎高等農林学校
昭和19年（1944） 宮崎農林専門学校



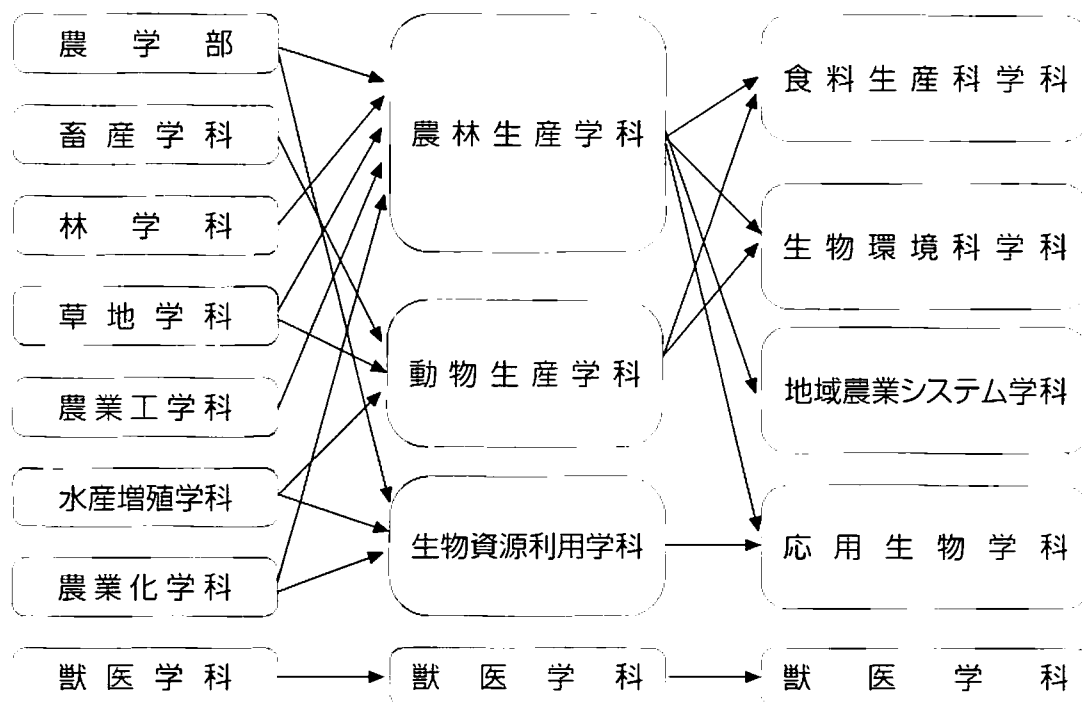
昭和24年（1949） 宮崎大学農学部
昭和42年（1967） 宮崎大学農学部農学研究科修士課程



昭和63年（1988） 鹿児島大学大学院連合農学研究科博士課程の構成大学
平成15年（2003） 宮崎大学と宮崎医科大学が統合
平成16年（2004） 国立大学法人と宮崎大学設置



移転後の学科の移り変わり



※なお、特別展示は、平成17年の初夏までは継続の予定となっております。是非、ご来館下さい。

3. 宮崎大学農学部年表

大正13年9月	宮崎高等農林学校設置（農学科、林学科、畜産学科）・附属農場設置
昭和4年7月	附属住吉牧場設置
昭和12年3月	附属田野演習林設置
昭和15年4月	獣医学科新設
昭和19年4月	勅令第165号第1条により宮崎農林専門学校と名称変更
昭和21年4月	農産製造科新設
昭和24年5月	「国立学校設置法」（昭和24年法律第150号）の公布により宮崎大学農学部設置 （農学科、林学科、畜産学科、獣医学科、農業化学科）
昭和26年4月	水産学科新設
昭和27年3月	「国立学校設置法の一部を改正する法律」（昭和27年法律第22号）の施行により宮崎農 林専門学校廃止
昭和28年4月	総合農学科新設
8月	附属家畜病院設置
昭和31年4月	農学専攻科設置（農学、林学、畜産学、獣医学、農業化学、水産学）
昭和34年4月	畜産別科新設
昭和38年4月	総合農学科を改組し、農業工学科を新設
昭和42年6月	宮崎大学大学院農学研究科修士課程設置（農学、林学、畜産学、獣医学、農業化学、農 業工学）、農学専攻科廃止
昭和44年4月	水産学科を改組し、水産増殖学科を新設
昭和46年4月	草地学科新設
昭和47年5月	附属水産実験所設置
昭和48年4月	宮崎大学大学院農学研究科修士課程設置（水産増殖学）農学専攻科廃止（水産学）
10月	下北実習林と日南の県有林との交換により串間演習林（大納、崎田）を設置
昭和50年4月	宮崎大学大学院農学研究科修士課程設置（草地学）
昭和54年12月	農業博物館が博物館相当施設として指定
昭和59年9月	宮崎大学移転統合地へ農学部移転開始（昭和60年1月24日移転完了）
昭和63年4月	鹿児島大学大学院連合農学研究科が設置され、農学部が構成大学となる
平成元年4月	農学部（獣医学科を除く）農学科、林学科、畜産学科、農業化学科、水産増殖学科、農 業工学科、草地学科の7学科を改組し、農林生産学科、生物資源利用学科、動物生産学 科の3学科に再編
平成2年4月	山口大学大学院連合獣医学研究科が設置され、農学部が構成大学となる
平成5年4月	宮崎大学大学院農学研究科修士課程農学専攻、林学専攻、畜産学専攻、農業化学専攻、 水産増殖学専攻、農業工学専攻、草地学専攻の7専攻を改組し、農林生産学専攻、生物 資源利用学専攻、動物生産学専攻の3専攻に再編
平成10年4月	附属農業博物館設置
平成12年4月	農学部（獣医学科を除く）農林生産学科、生物資源利用学科、動物生産学科の3学科を 改組し、食料生産科学科、生物環境科学科、地域農業システム学科、応用生物科学科の 4学科に再編
平成13年4月	附属農場、附属演習林および附属水産実験所を統合して、附属自然フィールド科学教育 研究センターを設置
平成15年10月	宮崎大学と宮崎医科大学が統合し、宮崎大学設置
平成16年4月	国立大学法人宮崎大学設置

4. 平成16年度の実施事業の紹介

サイエンス・パートナーシップ・プログラム「教育連携講座」

「細胞」から「生物のしくみ」を学ぶ

文部科学省では、平成14年度より、大学、教育機関等と中学、高等学校等の連携によって、児童生徒の科学技術・理科、数学に関する興味関心を高める機会を充実するために、サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業を行っています。

当館も昨年度から当事業に参加しており、本年度は、宮崎県立宮崎西高等学校との連携で、8月7日、8日の2日間、「教育連携講座－「細胞」から「生物のしくみ」を学ぶ－」を実施しました。

参加した宮崎西高の生徒さんは、N-SEM等、学内最新の実験設備を用いて、植物や動物の細胞と、それらによって構成されている組織や個体についての観察実験を体験し、生物分野や科学実験に対する興味関心をより高めたようでした。



「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」のようす

青少年のための科学の祭典

この祭典は、(財)日本科学技術振興財団の事業として毎年、全国数力所の都市を会場に開催されている科学イベントで、会場では、県内の小・中・高・高専・大学の先生方による、工夫を凝らした実験ブースが出展されています。平成16年度は「青少年のための科学の祭典 宮崎大会」として、8月7日(土)～8月10日(火)の4日間、宮崎市の宮崎科学技術館を会場に行われました。

本年度農学部からは、8月9日・10日に、「光で遊ぼう」「生物や物質の持つ不思議なカタチをみてみよう!」の2つの実験ブースが出展され、多くの小中学生がさまざまな実験を通し「科学の不思議とおもしろさ」を体験しました。



「青少年のための科学の祭典」のようす

博物館実習の実施

附属農業博物館は、平成13年度より学芸員養成支援として、博物館実習を開始しています。

本年度の実習は、8月19日から土日も含めた2週間、農学部のセキツイ動物、無セキツイ動物、草本、木本分野の教官および博物館教官による総勢14名の関係教官で実施いたしました。

実習では、セキツイ動物、無セキツイ動物、草本、木本の標本の採集と作製、博物館の運営業務はもとより、近年、ますます重要さを増してきた地域の理科教育支援、生涯学習支援活動の企画、実施、公開実験などに必要な化学薬品の知識とその取り扱い方法など、現在の博物館の活動を体験・理解してもらう内容も計画いたしました。その他、科学系博物館では一般的な走査型電子顕微鏡（SEM）の操作や観察試料作成についての実習も行いました。



「博物館実習」のようす

大学祭特別開館

大学祭開催期間（平成16年11月19日～21日）の19日・20日の土・日曜日に、当館では大学祭特別開館を行いました。

また、「日本の食と伝統を支えてきた米や雑穀について学ぶ」といった、現在では、あまり食べる機会のないお米や雑穀を準備して、それらを味わいながら、お米や雑穀についてのいろいろな知識を深めてもらうコーナーを博物館玄関前に準備いたしました。

黒米やワイルドライスなど、口にすることが少ないごはんが大変好評でした。



「大学祭特別開館」のようす

農業博物館出張講座

博物館では、毎年、農学部の教官が講師として県内の学校に出向き、最新の研究成果を紹介しながら生徒さんたちに、農業や環境の大切さを考えてもらうための「出張講座」を行っております。

本年度は宮崎県立日向高等学校で実施致しました。



昨年度の「出張講座」のようす

5. 「教育支援データベース」について

本年度、博物館では、宮崎県下の博物館・美術館等で構成される宮崎県博物館等協議会と連携し、学校の先生方が授業等で博物館等の社会教育施設の利用を計画される場合に必要とする詳細な施設情報や施設が提供する教育支援プログラムを掲載した「教育支援データベース」を博物館のホームページ内に立ち上げました。

現在のところ、宮崎県博物館等協議会の加盟館についてはほぼ100%の登録が終了しています。来年度は情報の更新を行うとともに、さらに登録施設を増やす予定です。

附属農業博物館のホームページ (<http://www.agr.miyazaki-u.ac.jp/~museum/>)

The screenshot shows the header of the Agricultural Museum website. The header includes the name '宮崎大学農学部 附属農業博物館' (Miyazaki University Faculty of Agriculture, Agricultural Museum) and 'Agricultural Museum Miyazaki University Faculty of Agriculture Miyazaki City Miyazaki 889-2192 Japan'. Below the header is a navigation bar with links for 'トップページ', 'コレクション 1', 'コレクション 2', '教育支援DB', 'English Page', and '中文頁'. The main content area is titled '■教育支援データベース' (Education Support Database). Below the title is a description: 'このページは、学校教育を支援するための各種施設やプログラム・素材などを、提供することを目的としたデータベースの試験運用版です。' (This page is a trial version of a database for providing various facilities, programs, and materials to support school education). There are three buttons: '● 支援情報を閲覧する' (View support information), '● 支援情報を登録/変更/削除する' (Register/change/delete support information), and '● 画像や資料などをダウンロードする' (Download images and materials). At the bottom, there is a footer with copyright information: '©2009 Miyazaki University Faculty of Agriculture, Agricultural Museum. All rights reserved.' and contact information: 'このホームページについてのお問い合わせは、agr-museum@cc.miyazaki-u.ac.jpまでお寄せ下さい。このサイトでは、JavaScript を使用しています。ブラウザの設定で JavaScript を有効にするか、JavaScript に対応したブラウザをお使い下さい。'

教育支援データベースのトップページ

写真でつづる農学部のおゆみ

[展示写真・資料をご提供いただいた方々] (50音順・敬称略)

石川 定雅	大隅 眞一	河野 清	近藤 義昭
後藤 徳吉	土屋 理恵	外山 保	野崎 徹志
仁部 義則	樋口 洋七	宮崎大学農学部同窓会事務局	



▲宮崎高等農林学校の正門



▲高農正門にて
門柱は現在、文化公園と農業博物館にある。



▲宮崎高等農林学校本館



▲本館2階より西側の研究・実験棟をのぞむ。
右側に教官室と第4実験室（理科実験室）と座席は階下式。
2実験室（動物実験室）、薬品庫、第3実験室（化学実験室）、
後方左に温室の煙突、その右側に農業博物館。中央左より第



▲化学教室での実験風景



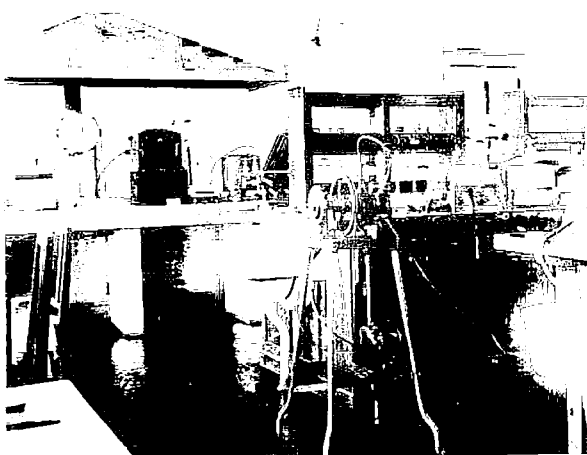
▲動物学教室での研究風景



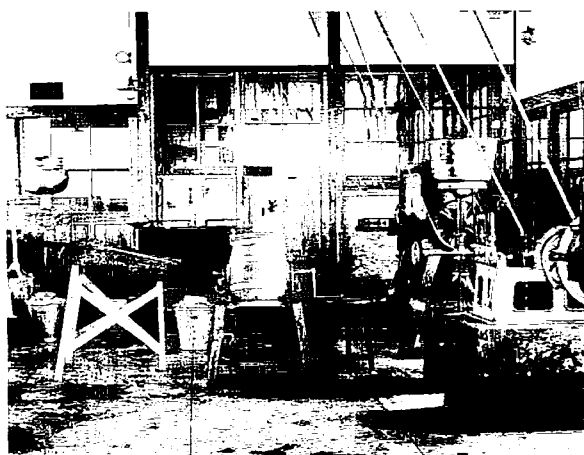
▲講義風景



▲図書閲覧室



▲化学教室の研究室
中央奥は灰化炉、手前は真空ポンプ。(創立当初より活躍した)



▲畜産製造室
中央の円形樽はバター製造器。学内牛乳は、木花キャンパスに移転するまで、ここで処理、販売された。



▲中央養蚕室・温室・研究棟



▲農場実習 中央は唐箕（とうみ）。風力で種子などに付いた塵を除去した。

▼農場実習



▲校内農場（昭和4年頃）





▲屋外での実習後の食事風景



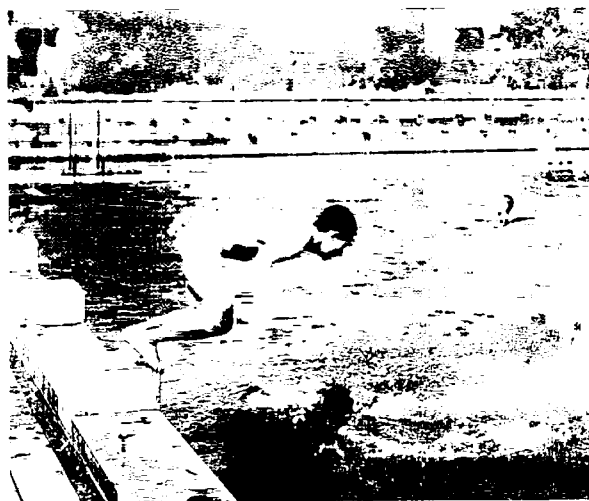
▲田野演習林での木炭製造実習



▲高低測量実習



▲軍事教練
三八式銃は学内武器室に保管されていた。



▲授業風景



▲学習風景



▲学寮室での1コマ



▲学寮室での1コマ (囲碁・将棋)



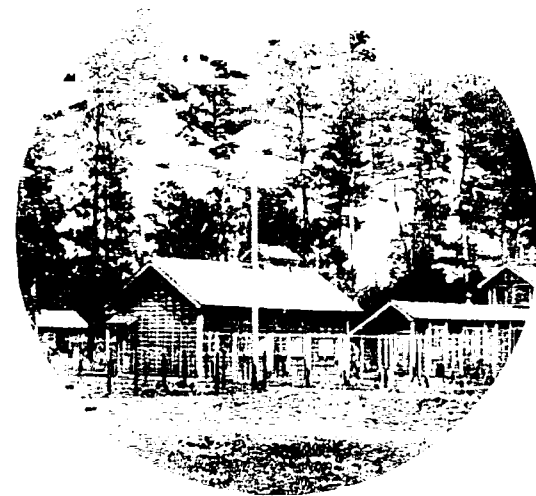
▶ 林産製造室外観



▲懐カシノ寮ヨサラバ! (双鶴寮の玄関にて)



▲寮の食堂での食事風景



◀ 家禽舎 (昭和4年竣工)



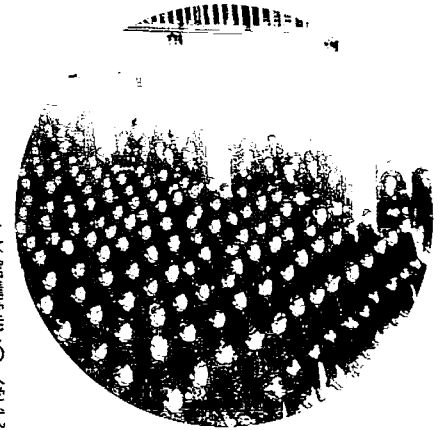
▲学生の食事風景



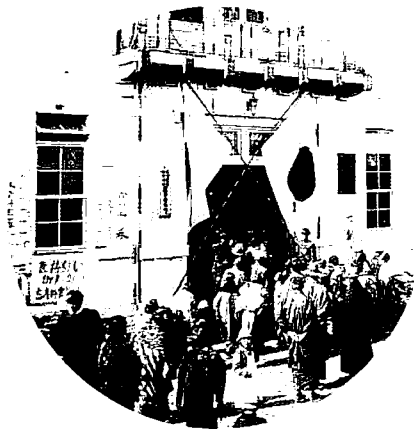
▲交友会館にて



▲林学科主催の落成式



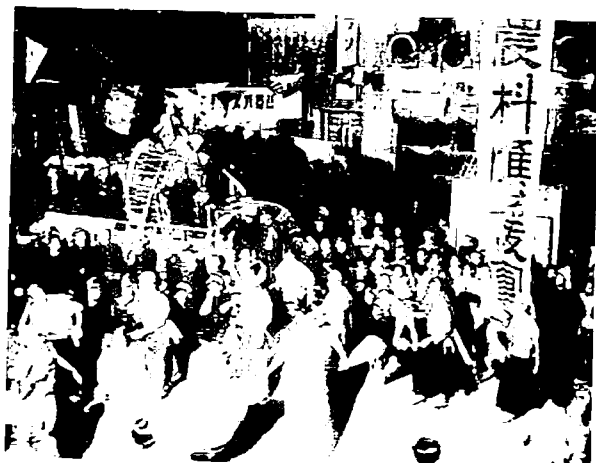
▶本館講堂での入学式



◀林学科主催の落成式



◀高等農林学校校歌



▲秋季大運動会の前夜祭
毎秋訪れる宮崎の風物詩のひとつとして、市民に親しまれた。



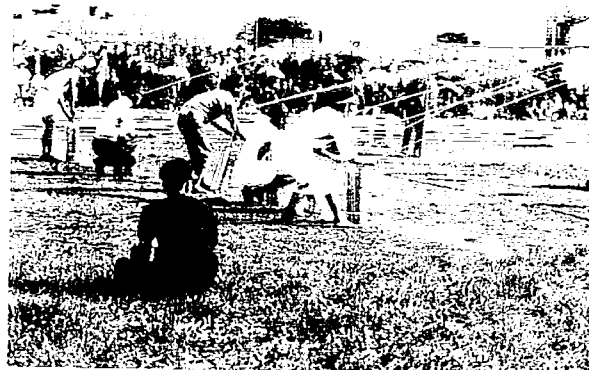
▲映画館（大成座）
戦前から、映画館は大成座と帝国館とが県庁西側にあった。戦後、
「原節子」は小津安二郎監督の映画で、ヒロインとして一世を風靡した。



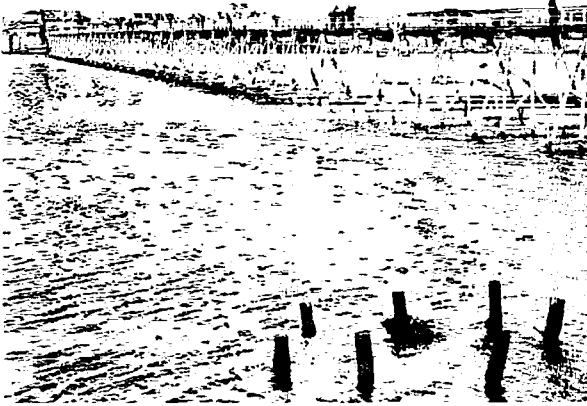
▲秋季大運動会（団技）



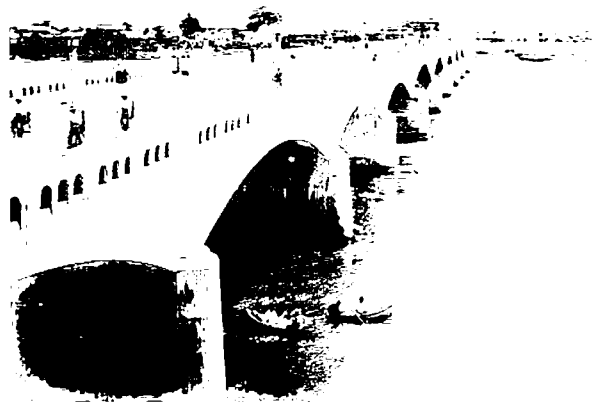
▲秋季大運動会の林学科応援団（高等農林専門学校時代）



▲秋季大運動会
右後方の入退場門は、杉の葉で作られていた。



▲橋橋（昭和4年頃）



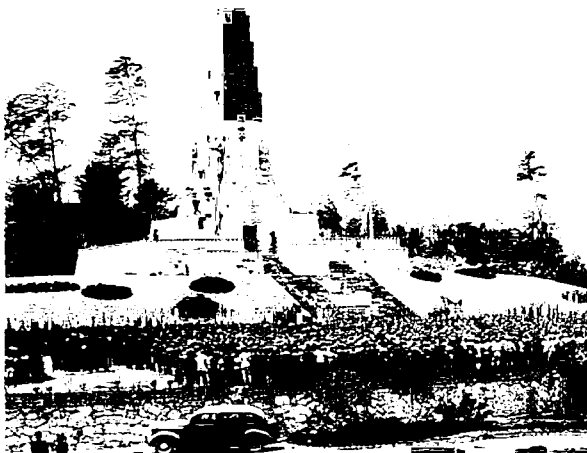
▲橋橋（昭和7年）
堂々たる御影石の橋は、昭和7年3月に竣工し、市民に親しまれた。



▲戦前の橋通



▲昭和4年頃の宮崎神宮前バス停



▲平和台
当初は建国記念（皇紀紀元2600年・昭和15年）に「八紘之基柱（あめつちのもとほしら）」として建立された。



▲宮崎神宮祭典



昭和21年に旧本館は焼失した。
▲農学部新本館と教室（昭和23年以降）



▲農学部新本館の玄関



▲理科特別室での動物学実習（昭和26年頃）
第4実験棟西側にあり、本館焼失後は階段教室として重宝された。



▲農業化学研究室（昭和26年頃）
化学実験室にて市川現文先生を囲んで。（後ろ左から2番目）市川先生は土壌・肥料学の専攻で化学実験を担当した。また、右から3番目は若き外山信男先生。



▲農業博物館内部（昭和26年頃）
手前は農学科の展示。各学科それぞれの特徴ある展示で、市民に教育研究をアピールした。



▲学食の様子



▲夏季実習合宿での一コマ



▲宮崎駅の前で



▲新装された研究棟
手前より農業工学科、林学科、農業化学科。また、遠くに見える体育館の屋根は、元軍用機の格納庫で、宮崎万博に活用した後、宮崎大学に移管された。



▲農学部学内温室の一部



▲農学部玄関付近（昭和40年代前半）



▲学内畜産学科畜舎付近をのぞむ 洒落た洋風の建物であった。



◀住吉牧場正門入り口



▶住吉牧場・畜舎



▲苗取り実習（農学部下北方農場）



▲農科健児の歌 運動会するとき、農学科の応援歌にもなった。



▲体育祭・前日のパレード

▶市内の風景（石造りの橋樑の頃）



▲秋季大運動会
高農陸上競技場は1周300mで、格好の運動会会場であった。

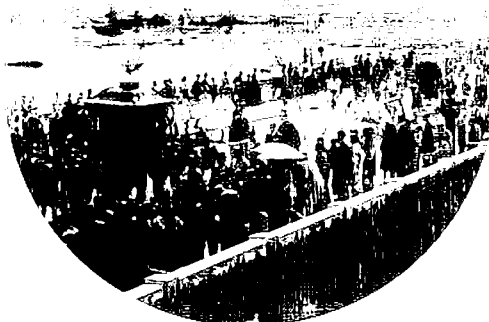


▲神武大祭・シャンシャン馬（昭和26年頃）
新郎役を、馬術部の学生が務めることが多かった。

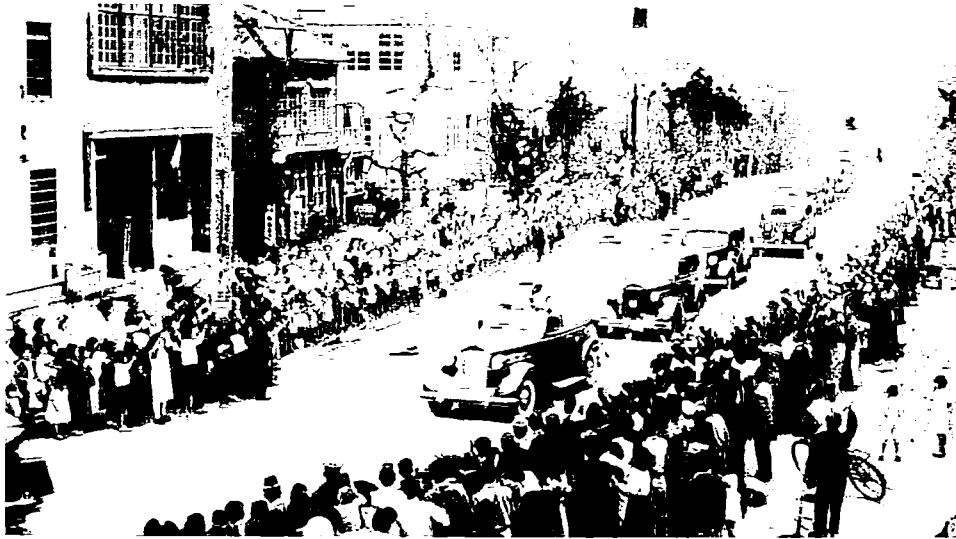


▲体育祭前日の市中パレード

▶橋樑の御神輿行列



▲体育祭前日の市中パレード
体育祭の前日は各学科で仮装して市内を練り歩いた。



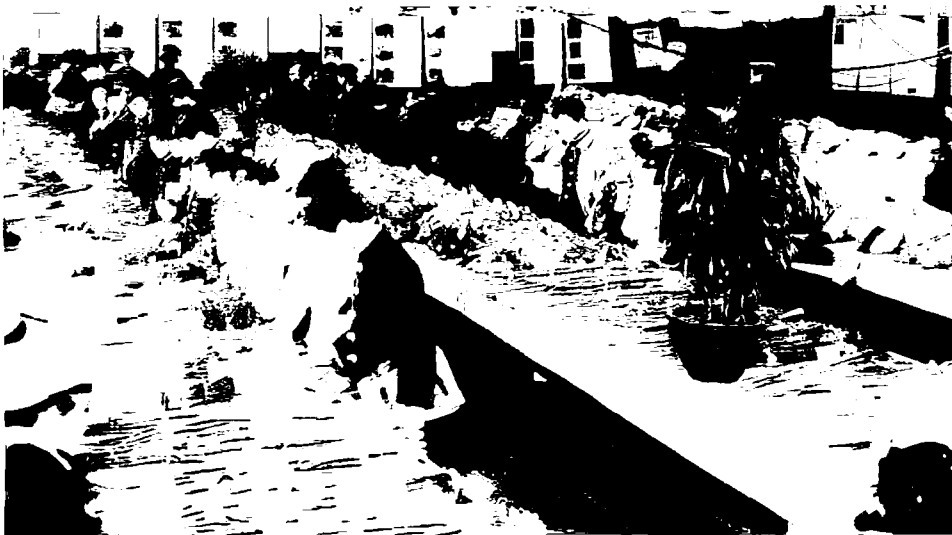
◀昭和天皇九州行幸（昭和20年代頃）



▲大山成文館（市内の県庁近くの書店）



▲卒業生送別会（昭和26年頃）



◀園芸共進会（昭和26年頃）



▲戦後に新装された宮崎駅



▲拡充された宮崎空港



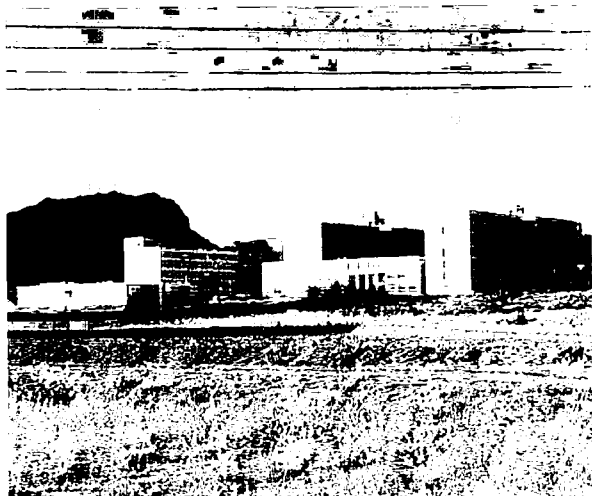
◀橋通の賑わい（昭和44年頃）



▲宮交バス（平和台駐輪場）



▲えびの高原百紫池
冬になると天然スケートのメッカとなって賑わった。



▲移転直後の農学部棟遠景（昭和59年頃）



▲現在の農学部棟正面（奥は研究棟）



▲木花フィールド（農場）入り口



▲研究室での実験の様子



▲教育文化学部棟のようす



▲大学祭（白いテントは学生の模擬店）



▲大学祭での農産物販売の様子



▲大学祭みこしパレード（宮崎駅前）



▲食堂での食事風景



▲生協購買部（書籍コーナー）

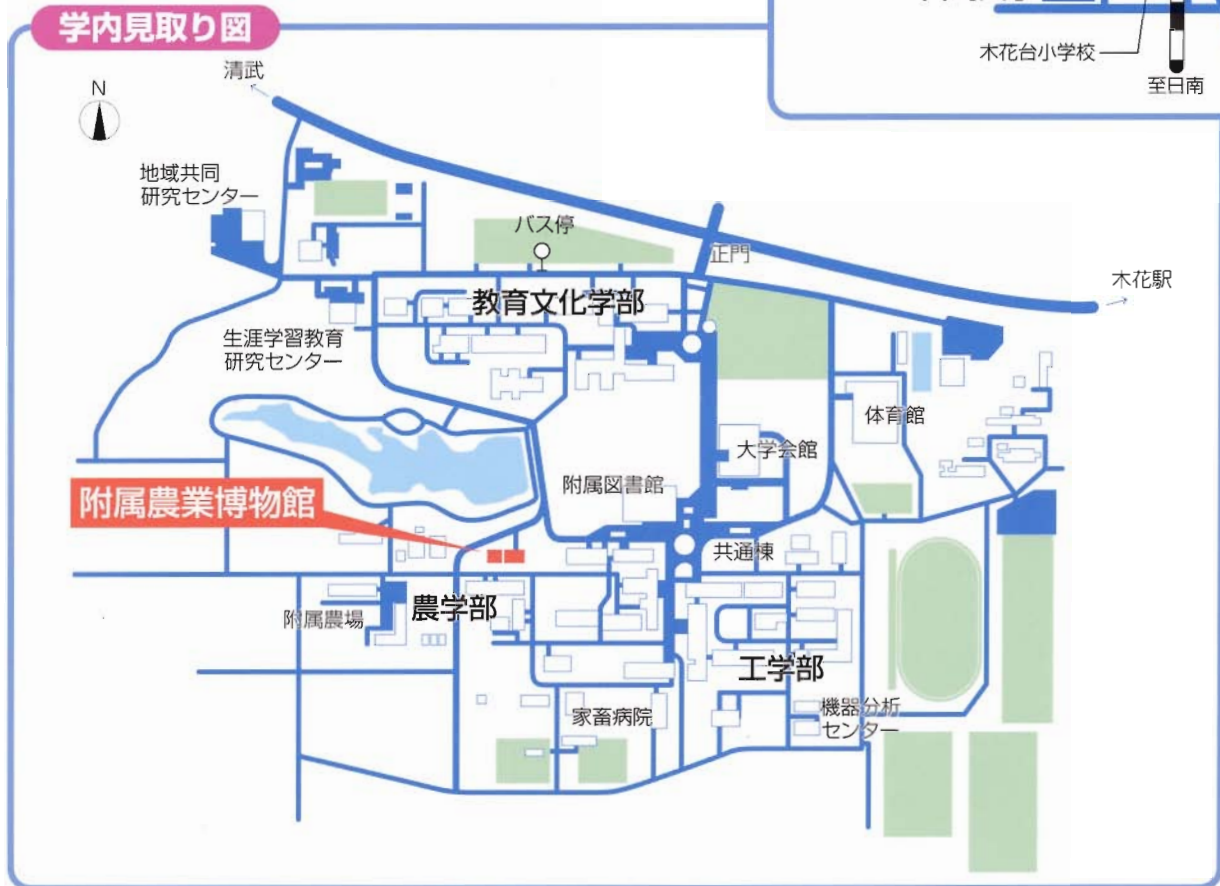
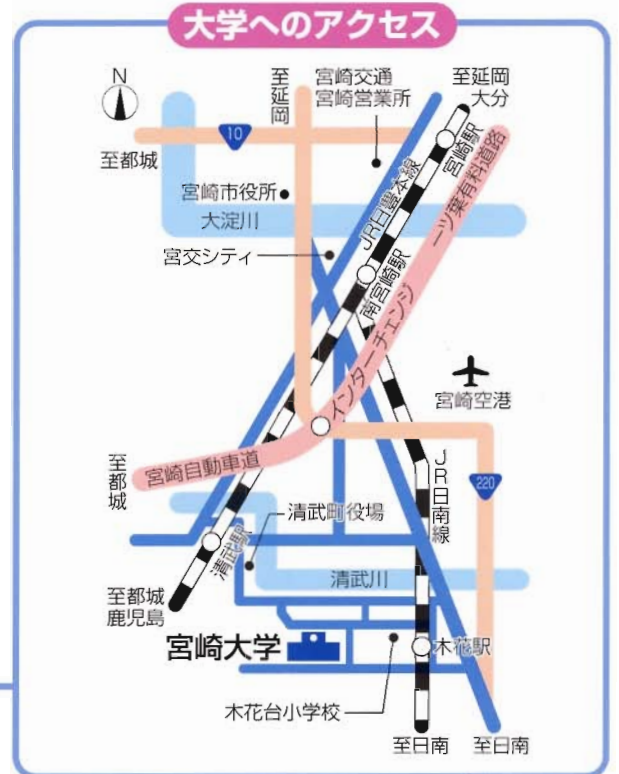


▲農学部跡地の碑

大学へのアクセスと学内見取り図



開館時間 9:00~16:00
 休館日土曜・日曜・祝日・年末年始
 (大学祭、大学開放日には開館しています。)
 入場料 無料 (20人以上はご連絡下さい)



平成16年度博物館スタッフ

附属農業博物館職員

館長 長友 由隆 専任教官 宇田津徹朗
 事業部員 武田 博 研究部員 那須 哲夫

博物館運営委員

食料生産科学科	石田 孝史	食料生産科学科	大野 和朗
生物環境科学科	岩槻 幸雄	生物環境科学科	北原 龍士
地域農業システム学科	稲垣 仁根	地域農業システム学科	廣部 宗
応用生物科学科	河原 聡	応用生物科学科	國武 久登
獣医学科	永延 清和	獣医学科	中原 桂子
事務長	吉住紀久男		

宮崎大学農学部附属農業博物館

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1
 TEL/FAX : 0985-58-2898
 E-mail : a-museum@cc.miyazaki-u.ac.jp
 HP : <http://www.agr.miyazaki-u.ac.jp/~museum/>